

# 鉄道駅バリアフリー料金届出事業者による 設備整備進捗状況

● 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本).....	1
● 京阪電気鉄道株式会社.....	8
● 大阪市高速電気軌道株式会社(大阪メトロ).....	14
● 阪神電気鉄道株式会社.....	23
● 阪急電鉄株式会社.....	29
● 山陽電気鉄道株式会社.....	35
● 神戸電鉄株式会社.....	40

# 鉄道駅バリアフリー料金制度に関する バリアフリー設備の整備進捗状況について

JR 西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023年4月1日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を進めております。

このたび、国土交通省近畿運輸局へ報告した2023年度の進捗状況(様式2-1~様式2-5)について、お知らせします。

## 1. 2023年度のバリアフリー設備整備進捗状況

### (1) 設置・改良費

設備名	上段：整備駅名(のりば)/下段：整備数		設置・改良費 <sup>※3</sup>	計画進捗率 <sup>※4</sup>
	整備中	整備完了		
ホーム柵	弁天町(1・2)、 西九条(1~4)、 天王寺(11・14)、 京都(3・4)、明石(1・2)、 新今宮(2・3)、神戸(3・4)	【設置】三ノ宮(1)	886 百万円	16% (3/19 番線)
		1 駅 1 番線		
ホーム安全スクリーン	—	【改良】大阪(21) <sup>※5</sup>	1,259 百万円	35% (49/142 番線)
		7 駅 16 番線		
段差隙間縮小に資する設備	—	兵庫(1~4)、茨木(1・4)、 桜ノ宮(1・2)、 天王寺(1~9)、 摂津富田(2・3)、 新大阪(1~3)、 海老江(1・2)、 元町(1~4)、垂水(1・2)、 鳳(1~5)、芦屋(2・3)、 桂川(1・2) <sup>※6</sup> 、須磨(1~4) <sup>※6</sup>	18 百万円	14% (2/14 番線)
		13 駅 43 番線		
		京橋(3・4)		
		1 駅 2 番線		

※1 エレベーター、エスカレーターの当該年度の整備はありません

※2 【設置】【改良】の記載がない設備はすべて新規設置を示します

※3 整備中および整備完了の設備に対して発生した費用を示します

※4 計画期間(2021~2025年度)における整備計画数に対する進捗率(整備完了)を示します

※5 大阪駅21番線フルスクリーンホームドアの改良費を示します

※6 ホーム上の屋根等がある範囲の整備を完了します。ホーム上の屋根等がない範囲の整備は引き続き進めてまいります。

(西日本旅客鉄道株式会社)

## (2) 更新費

エレベーターの更新 5 駅 9 基 182 百万円

エスカレーターの更新 1 駅 6 基 312 百万円

## (3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費等）

維持管理費	901 百万円
収受システム改修費	108 百万円
その他費用	174 百万円

## (4) 料金収受額・整備費

ア. 当該年度（2023 年度）

①料金収受額：5,380 百万円

②整備費：3,840 百万円 ※（1）～（3）の合計額

イ. 累積（2021 年度から 2023 年度まで）

①料金収受額：5,380 百万円 ※2023 年度より収受を開始しているため、ア. ①と同額

②整備費：7,868 百万円

[参考] 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備

（2022 年 8 月 19 日ニュースリリース）

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page\\_20617.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html)

鉄道駅バリアフリー料金制度に関する整備等計画の変更について

（2024 年 3 月 27 日ニュースリリース）

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page\\_24888.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page_24888.html)

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、10 番、11 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



【お問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 TEL：06-6375-8889  
（西日本旅客鉄道株式会社）

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	西日本旅客鉄道株式会社
---------	-------------

本年度整備費	3,840 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホーム柵	1 駅	1 番線	三ノ宮
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
段差隙間縮小に資する設備	1 駅	2 番線	京橋
ホーム安全スクリーン	13 駅	43 番線	兵庫、茨木、桜ノ宮、天王寺、 摂津富田、新大阪、海老江、 元町、垂水、鳳、芦屋、桂川※、須磨※
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	1 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	5,380 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	3,305	2,075	0
備考			

本年度までの累計整備費	7,868 百万円
本年度までの累計徴収額	5,380 百万円

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵	9 駅	18 番線	※1	886 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
段差隙間縮小	1 駅	2 番線	京橋	18 百万円
ホーム安全スクリーン	13 駅	43 番線	※2	1,259 百万円
備考	※1 供用開始：【設置】1駅1番線(三ノ宮)、【改良】1駅1番線(大阪) 整備中：7駅16番線(京都、明石、弁天町(継続)、西九条(継続)、天王寺(継続)、新今宮、神戸) ※2 供用開始：13駅43番線(兵庫、茨木、桜ノ宮、天王寺、摂津富田、桂川、新大阪、海老江、元町、垂水、鳳、芦屋、須磨) ※桂川、須磨はホーム上家がある範囲への整備完了を示す			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
エレベーター	5 駅	9 基	※3	182 百万円
エスカレーター	1 駅	6 基	三ノ宮	312 百万円
備考	※3 加島、尼崎、立花、六甲道、明石			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用(駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費				901 百万円
収受システム改修費				108 百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				174 百万円
備考	維持管理費は、エレベーター、エスカレーター、ホーム柵、ホーム安全スクリーンの維持管理に要した費用を示す。			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

**バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）**

年度	ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	2番線	11%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	1番線	16%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	6番線	47%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	10番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	19番線	100%	0駅	—	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	6番線	33%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	12番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
累計	18番線	100%	1駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

## ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
西九条(1,2,3,4番ホーム)可動式ホーム柵他新設	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	558 百万円
弁天町(1,2番ホーム)可動式ホーム柵他新設	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	290 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

## 鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について（お知らせ）

弊社では2023年4月1日から運賃に加算して「鉄道駅バリアフリー料金」を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達（国鉄都第111号 令和3年12月28日付）」に基づき、2023年度のバリアフリー整備等の実績について以下の通りご報告申し上げます。

お客さまには引き続き料金のご負担をおかけしますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### ■2023年度実績

1. 整備費総額 13億58百万円  
【内訳】 設備・改良費：7億19百万円  
          更新費          ：2億46百万円  
          維持管理費・システム改修費：3億91百万円
2. 設備・改良費の内容
  - ・ホームドア整備（枚方市駅 3・4番線）
  - ・車両のフリースペース設置（7000系車両1編成）
3. 更新費の内容
  - ・エレベーター更新（枚方市駅2基・中書島駅2基）
  - ・行先表示器更新（天満橋・京橋駅）
  - ・列車接近表示器（御殿山駅）
  - ・運行情報配信システム（旅客案内ディスプレイ）更新
4. 維持管理費の内容
  - ・維持管理費（ホームドア、エレベーター、運行情報配信システム）
  - ・収受システム改修費
5. 2023年度の料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数
  - ・ホームドア設置番線数 2番線
  - ・段差解消駅数          0駅
6. 2023年度の徴収額 13億78百万円  
【内訳】 定期外：10億22百万円  
          定期券：3億56百万円
7. 整備等計画の進捗状況：当初の計画通りに進捗しています。

以上

（京阪電気鉄道株式会社）

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京阪電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	1,358 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	1 駅	2 番線	枚方市
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	1 編成	7 両	
その他		駅	
備考			

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	2 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	1,378 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	1,022	356	0
備考			

本年度までの累計整備費	2,668 百万円
本年度までの累計徴収額	1,378 百万円

※端数処理の都合上、様式2-1の本年度整備費と様式2-2の整備費の合計は異なる

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	3 駅	6 番線	守口市駅(新規着手)、萱島駅(新規着手)、枚方市駅	707 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		百万円
バリアフリーストレ	0 駅	0 ヶ所		百万円
車両のフリースペース	1 編成	7 両		12 百万円
その他		駅		百万円
備考				
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		百万円
エレベーター	2 駅	4 基	枚方市駅、中書島駅	121 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		百万円
バリアフリーストレ	0 駅	0 ヶ所		百万円
車両	0 編成	0 両		百万円
その他※		駅		125 百万円
備考	※旅客案内ディスプレイ 20駅 ※行先表示器 2駅 ※列車接近表示器 1駅			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用(駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費		89 百万円		
収受システム改修費		302 百万円		
その他費用 <small>(駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)</small>		百万円		
備考	維持管理費：ホームドア、エレベーター、運行情報配信システム、行先表示器、列車接近表示器、放送システムのメンテナンス			

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	2番線	25%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	4番線	75%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	2番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	8番線	100%	0駅	—	0駅	—

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	番線	%	駅	%	駅	%
2027年度	番線	%	駅	%	駅	%
2028年度	番線	%	駅	%	駅	%
2029年度	番線	%	駅	%	駅	%
2030年度	番線	%	駅	%	駅	%
・ ・ ・						
累計	番線	%	駅	%	駅	%

## ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
枚方市駅可動式ホーム柵設置整備事業 (枚方市駅3・4番線)	当社ホームドアの仕様が大開口タイプと特殊であり、すでに導入した駅での実績業者に発注することが設計面等を含めた価格が適正になるため。また、維持管理面等においても、メンテナンスや部品確保の点で有利なため。	過去に競争見積もり比較のうえすでに導入した駅での価格を参考とし、価格協議において適正と判断した。	569 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

# Osaka Metroにおけるバリアフリーの 取組み状況について

2024年6月28日  
大阪市高速電気軌道(株)

## バリアフリーに関する当社の取組

今までも…

「**全てのお客さまに、より便利で快適に安心してご利用いただける地下鉄**」  
を目指し、エレベーターや可動式ホーム柵の整備を推進してきました。

【バリアフリー料金制度】 2021年12月  
○目的 都市部において利用者の薄く広い負担を得て、  
バリアフリー化を進めること

活用

今後も…

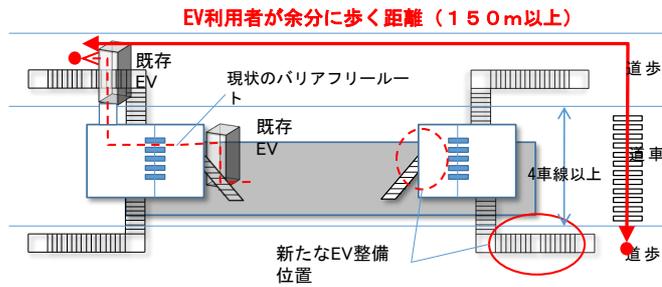
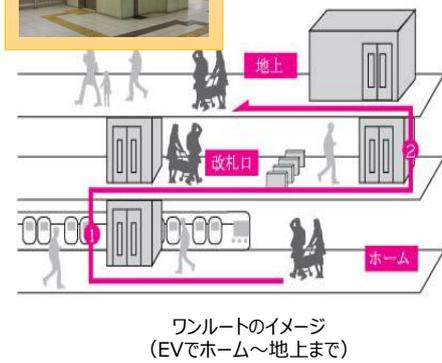
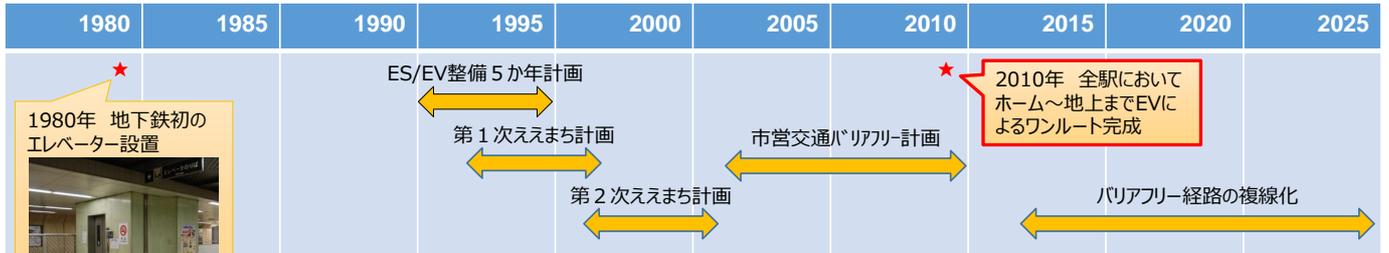
「最高の安全・安心」を追求し、あらゆるお客さまに今以上に便利で快適にご利用  
いただけるよう、ハード・ソフトの両面からバリアフリー化の促進に取り組めます。

(大阪市高速電気軌道株式会社)

# バリアフリーに関する当社の取組

## 1 これまでの取組

### ○エレベーター・エスカレーター



整備基数 (2023年度末)  
 エレベーター : 352基  
 エスカレーター : 379基

# バリアフリーに関する当社の取組

## 1 これまでの取組

### ○可動式ホーム柵

- 御堂筋線** 全20駅を2021年度末までに整備完了
- 谷町線** 東梅田駅を2019年度に整備完了
- 四つ橋線** 西梅田駅、他4駅を2021年度及び2023年度に整備完了
- 中央線** 谷町四丁目駅、森ノ宮駅を2023年度に整備完了
- 千日前線** 全14駅で2014年度末までに整備完了
- 堺筋線** 全10駅で2022年度末までに整備完了
- 堀鶴見緑地線** 全17駅で2011年度末までに整備完了
- 今里筋線** 全11駅で開業時の2006年度に整備完了
- 港ポートタウン線** 全10駅で開業時の1981年度及び1997年度に整備完了



中央線森ノ宮駅 (2023年度設置)

## バリアフリーに関する当社の取組

### 2 今後の主な取組

#### ○エレベーター

引き続き、現状のバリアフリー経路では大幅な迂回が必要となっている駅で、バリアフリー経路を複数ルートに増やし、駅の利便性向上に取り組む。

#### ○エスカレーター

ご利用の多い御堂筋線と中央線を優先し、改札階から地上間や乗換経路などを中心に整備を進める。

#### ○サービス情報表示器

改札口に設置し、先発・次発情報や運転見合わせ情報、地震発生時の災害情報などを案内する。



サービス情報表示器

## バリアフリーに関する当社の取組

### 2 今後の主な取組

#### ○可動式ホーム柵

全133駅に2025年度末までに整備

谷町線

全26駅を2025年度末までに整備

四つ橋線

全11駅を2024年度末までに整備

中央線

全14駅を2024年度末までに整備

御堂筋線

千日前線

堺筋線

長堀鶴見緑地線

今里筋線

南港ポートタウン線

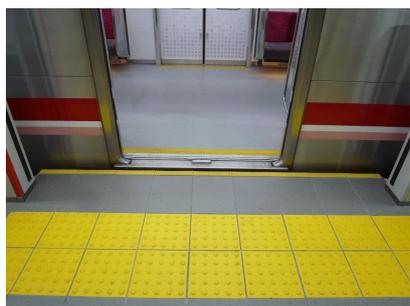
整備完了

## バリアフリーに関する当社の取組

### 2 今後の主な取組

#### ○列車とホームの段差隙間縮小

ホーム柵整備後、ホーム床を嵩上げし、段差を縮小し、ホーム端にくし状ゴムを取り付けて、列車とのすき間の縮小を実施



段差：2cm程度  
隙間：3cm程度

上記を目標として縮小しますが、路線によって条件が異なるため値が大きくなっている箇所があります

※床面高さの異なる車両が混在する路線は段差が上記より大きくなります  
また、ホーム曲線部では隙間が上記より大きくなります

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	大阪市高速電気軌道株式会社
---------	---------------

本年度整備費	6,221 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	5 駅 11 番線	肥後橋駅、四つ橋線本町駅、四つ橋駅、中央線森ノ宮駅、中央線谷町四丁目駅
エレベーター	駅 基	
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅 番線	
段差隙間縮小に資する設備	2 駅 4 番線	肥後橋駅、四つ橋線本町駅
バリアフリートイレ	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	各 駅	
備考	その他内訳 ・サービス情報表示器（42駅） 江坂駅、中津駅、西田辺駅、長居駅、我孫子駅、北花田駅、新金岡駅、大日駅、守口駅、千林大宮駅、関目高殿駅、野江内代駅、都島駅、中崎町駅、谷町四丁目駅、四天王寺前夕陽ヶ丘駅、阿倍野駅、文の里駅、田辺駅、駒川中野駅、平野駅、喜連瓜破駅、出戸駅、長原駅、八尾南駅、大國町駅、玉出駅、コスモスクエア駅、朝潮橋駅、九条駅、深江橋駅、高井田駅、長田駅、トレードセンター前駅、中ふ頭駅、ポートタウン西駅、ポートタウン東駅、フェリーターミナル駅、南港東駅、南港口駅、平林駅、住之江公園駅	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	11 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	5,599 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	4,417	1,182	0
備考			

本年度までの累計整備費	11,945 百万円
本年度までの累計徴収額	5,599 百万円

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	48 駅	98 番線	(継続) 谷町線、四つ橋線、中央線※	3,138 百万円
エレベーター	6 駅	6 基	(新規) 梅田駅、なかもず駅、千林大宮駅、中崎町駅、日本橋駅、今里駅	187 百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	27 駅	54 番線	(新規) 肥後橋駅、四つ橋線本町駅、谷町線 (大日駅、他24駅)	128 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他		各 駅		220 百万円
備考	その他内訳： (継続) サービス情報表示器 (79駅) 江坂駅、中津駅、大日駅、他76駅 (新規) 案内 (6駅) 淀屋橋駅、本町駅、天王寺駅、大阪港駅、弁天町駅、谷町四丁目駅 ※ 谷町線 25駅 (大日駅等、設置済み東梅田駅除く全駅) 四つ橋線 9駅 (肥後橋駅等、設置済み西梅田駅、大國町駅除く全駅) 中央線 14駅 (コスモスクエア駅等全駅)			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	6 駅	8 基	四天王寺前夕陽ヶ丘駅、なんば駅、長田駅、大正駅、玉造駅、南港口駅	231 百万円
エスカレーター	6 駅	7 基	東三国駅、動物園前駅、長居駅、朝潮橋駅、西長堀駅、谷町九丁目駅	215 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他		各 駅		573 百万円
備考	その他の内訳：案内表示器、案内設備 (サイン)			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費		1,211	百万円	
収受システム改修費		94	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		224	百万円	
備考	維持管理費内訳：ホームドア、エレベーター、エスカレーター、旅客案内表示器、幅広改札機、案内設備 (サイン)、バリアフリートイレ、点字ブロック、案内 その他費用内訳：駅務機器改修費、駅頭表示改修費 (運賃表)			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

**バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）**

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)									
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅							
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率						
2021年度	0	番線	0	%	—	駅	—	%	0	駅	0	%
2022年度	0	番線	0	%	—	駅	—	%	0	駅	0	%
2023年度	11	番線	11	%	—	駅	—	%	0	駅	0	%
2024年度	47	番線	59	%	—	駅	—	%	2	駅	33	%
2025年度	40	番線	100	%	—	駅	—	%	4	駅	100	%
累計	98	番線	100	%	—	駅	—	%	6	駅	100	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

## バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	10 %
2027年度	— 番線	— %	— 駅	— %	1 駅	15 %
2028年度	— 番線	— %	— 駅	— %	3 駅	30 %
2029年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	40 %
2030年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	50 %
2031年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	60 %
2032年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	70 %
2033年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	80 %
2034年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	90 %
2035年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	100 %
累計	— 番線	— %	— 駅	— %	20 駅	100 %

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

## ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
該当なし			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

## 鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について(お知らせ)

当社では2023年4月1日より、運賃と合わせて鉄道駅バリアフリー料金(以下「料金」といいます。)を収受しておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金の取扱いに関する通達(国鉄都第111号 令和3年12月28日付け)」に基づき、下記の通り2023年度の整備等計画の進捗状況をお知らせいたします。

お客さまには引き続き料金のご負担をお願いすることとなりますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 記

1. 整備費総額 : 1,238百万円(2022年度からの累計 2,114百万円)

【内訳】設置・改良費 1,046百万円

維持管理費・収受システム改修費・その他費用 192百万円

2. 主な整備内容

①設置・改良費の内容

- ・大阪梅田駅 ホームドア設置(ホームドア製作、設置工事等)
- ・尼崎駅 ホームドア設置(ホームドア製作、設置工事等)
- ・甲子園駅 ホームドア設置(ホームドア製作等)
- ・神戸三宮駅 ホームドア関係工事(乗降検知表示灯設置等)
- ・大阪梅田駅 エレベーター設置等
- ・ホームドア遠隔集中監視システム構築

②維持管理費・収受システム改修費・その他費用の内容

- ・ホームドア(可動式ホーム柵)、エレベーター、エスカレーターの維持管理

3. 料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

- ・ホームドア設置番線数 6番線
- ・段差解消駅数 1駅(二経路以上確保駅)

4. 料金徴収額 : 1,121百万円(2023年4月1日より収受開始)

5. 整備等計画の進捗状況 : 当初の計画通りに進捗しています。

以上

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪神電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	1,238 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	2 駅	6 番線	大阪梅田駅・尼崎駅
エレベーター	1 駅	2 基	大阪梅田駅
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	0 編成	0 両	
その他	1	駅	大阪梅田駅
備考	「その他」の設備：エスカレーター音声案内装置		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	6	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	1 駅

本年度徴収額	1,121 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	793	328	0
備考			

本年度までの累計整備費	2,114 百万円
本年度までの累計徴収額	1,121 百万円

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	3 駅	9 番線	【新規】大阪梅田駅・甲子園駅 【継続】尼崎駅 【改良】神戸三宮駅※1	908 百万円
エレベーター	1 駅	2 基	【新規】大阪梅田駅	136 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		0 百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		0 百万円
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両のフリースペース	0 編成	0 両		0 百万円
その他		1 駅※2	【新規】大阪梅田駅	2 百万円
備考	※1：整備数には含んでいない ※2：エスカレーター音声案内装置			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		0 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両	0 編成	0 両		0 百万円
その他		0 駅		0 百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費			192	百万円
収受システム改修費			0	百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			0	百万円
備考	維持管理費には、ホームドア・エレベーター・エスカレーター・バリアフリートイレの維持管理を含む			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

**バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）**

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0	0%	0	0%
2022年度	0番線	0%	0	0%	0	0%
2023年度	6番線	27%	1	17%	1	17%
2024年度	3番線	41%	1	33%	1	33%
2025年度	13番線	100%	1	77%	1	77%
累計	22番線	100%	3	100%	3	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	8番線	14%	駅	%	駅	%
2027年度	9番線	29%	駅	%	駅	%
2028年度	9番線	45%	駅	%	駅	%
2029年度	8番線	59%	駅	%	駅	%
2030年度	4番線	66%	駅	%	駅	%
2031年度	2番線	69%	駅	%	駅	%
2032年度	4番線	76%	駅	%	駅	%
2033年度	6番線	86%	駅	%	駅	%
2034年度	4番線	93%	駅	%	駅	%
2035年度	4番線	100%	駅	%	駅	%
累計	58番線	100%	駅	%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

## ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
尼崎駅ホームドア設置工事(1・2番線)の内電気関係設計変更工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	50 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について  
(お知らせ)

標記の件につきまして、弊社では2023年4月1日から運賃に加算して「鉄道駅バリアフリー料金」を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達（国鉄都第111号 令和3年12月28日付）」に基づき、2023年度におけるバリアフリー整備等の実績について以下の通りご報告申し上げます。

お客様には引き続き料金のご負担をおかけしますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

■2023年度実績

1. 整備費総額：26億93百万円

【内訳】設置・改良費：17億91百万円、更新費：5億70百万円、  
維持管理費：3億32百万円

2. 設置・改良費の内容

(1) ホームドア整備費

- ①設計業務：塚口駅、川西能勢口駅、高槻市駅、京都河原町駅
- ②ホーム補強・扛上工事等：蛍池駅、西宮北口駅、桂駅、石橋阪大前駅
- ③ホームドア監視システム導入

(2) 固定式ホーム柵整備費

- ①設計業務：甲陽園駅、苦楽園口駅、夙川駅、今津駅、阪神国道駅、西宮北口駅
- ②固定式ホーム柵設置工事（2023年度供用開始）：伊丹駅、新伊丹駅、稲野駅、塚口駅

(3) バリアフリースイレ整備費

- ①設計業務：雲雀丘花屋敷駅

3. 更新費の内容

- (1) エレベーター更新費：岡町駅、南千里駅（下り線）、曾根駅、今津駅（構外）
- (2) エスカレーター更新費：茨木市駅、高槻市駅、岡町駅、蛍池駅、神戸三宮駅

4. 維持管理費の内容

エレベーター、エスカレーター、可動式ホーム柵等

5. 2023年度の料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

- ・ ホームドア設置番線数：0番線
- ・ 固定式ホーム柵設置番線数：7番線（伊丹駅、新伊丹駅、稲野駅、塚口駅）
- ・ 段差解消駅数：0駅

6. 2023年度の収受総額：33億56百万円

【内訳】定期外：23億99百万円、通勤定期券：9億57百万円

7. 整備等計画の進捗状況：当初の計画通りに進捗しています。

8. 本年度までの累計整備費・収受額

【累計整備額】44億69百万円（2021年度～2023年度）

【累計収受額】33億56百万円（2023年度）

以上

(阪急電鉄株式会社)

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪急電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	2,693 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	
固定式ホーム柵	4 駅	7 番線	伊丹・新伊丹・稲野・塚口
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	編成	0 両	
その他		箇所	
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	3,356 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	2,399	957	0
備考			

本年度までの累計整備費	4,469 百万円
本年度までの累計徴収額	3,356 百万円

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	8 駅	24 番線	【新規】塚口・川西能勢口・高槻市・京都河原町・ 蛍池・西宮北口 【継続】桂・石橋阪大前	1,366 百万円※1
固定式ホーム柵	10 駅	16 番線	【新規】甲陽園・苦楽園口・夙川・今津・阪神国道・ 西宮北口 【継続】伊丹・新伊丹・稲野・塚口	424 百万円
エレベーター	駅	基		百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	駅	番線		百万円
バリアフリートイレ	1 駅	1 ヶ所	【新規】雲雀丘花屋敷	1 百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他		各 駅		百万円
備考	【ホームドア整備】 ・ホームドア設置の設計業務(塚口、川西能勢口、高槻市、京都河原町) ・ホーム補強・扛上工事および電気機器の設計業務(蛍池、西宮北口、桂、石橋阪大前) ※1 「ホームドア監視システム」導入費用含む 【固定式ホーム柵】 ・固定式ホーム柵設置の設計業務(甲陽園、苦楽園口、夙川、今津、阪神国道、西宮北口) ・ホーム補強・扛上工事および固定式ホーム柵設置工事(伊丹、新伊丹、稲野、塚口) 【バリアフリートイレ】 ・設備改良における設計業務(雲雀丘花屋敷)			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
固定式ホーム柵	駅	番線		百万円
エレベーター	4 駅	4 基	【新規】岡町・南千里 【継続】曾根・今津	143 百万円
エスカレーター	5 駅	17 基	【新規】茨木市・高槻市 【継続】岡町・蛍池・神戸三宮	427 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他		駅		百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費			332	百万円*
収受システム改修費			0	百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			0	百万円
備考	*維持管理費：エレベーター、エスカレーター、可動式ホーム柵等			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

## バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		固定式ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
					駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	7番線	28%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	12番線	50%	9番線	64%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	12番線	100%	9番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	24番線	100%	25番線	100%	0駅	—	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

## バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		固定式ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
					駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	16番線	11%	6番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	16番線	22%	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2028年度	16番線	34%	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2029年度	11番線	41%	0番線	100%	0駅	0%	1駅	100%
2030年度	20番線	55%	0番線	100%	1駅	100%	0駅	100%
2031年度	20番線	69%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
2032年度	16番線	80%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
2033年度	14番線	90%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
2034年度	8番線	96%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
2035年度	6番線	100%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
累計	143番線	100%	6番線	100%	1駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

## ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
桂駅ホームドア整備事業 (桂駅1～4番線)	当社線の車両条件に適合し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	2 百万円
西宮北口駅ホームドア整備事業 (1～4番線) ※降車ホーム含む	当社線の車両条件に適合し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	2 百万円
蛍池駅（1.2番線）ホームドア整備事業	当社線の車両条件に適合し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	5 百万円
石橋阪大前駅（1.2番線）ホームドア整備事業	当社線の車両条件に適合し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	1 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について（お知らせ）

標記の件につきまして、弊社では2023年4月1日から運賃に加算して「鉄道駅バリアフリー料金」を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達（国鉄都第111号令和3年12月28日付）」に基づき、2023年度のバリアフリー整備等の実績について以下の通りご報告申し上げます。

お客さまには引き続き料金のご負担をおかけしますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

■2023年度実績の主な内容

1. 整備費総額 4億24百万円

【内訳】設置・改良費：3億47百万円、更新費：16百万円、維持管理費等：56百万円

2. 設置・改良費の内訳

- ①エレベーター：2億98百万円（夢前川駅2基）
- ②段差隙間縮小に資する設備：44百万円（夢前川駅2番線）
- ③その他（段差解消を目的とした改札口の新設）：5百万円（夢前川駅）

3. 更新費の内容

- ・エレベーター：16百万円（山陽姫路駅1基）

4. 維持管理費の内容

- ①エレベーター：31百万円
- ②エスカレーター：25百万円

➤なお、端数処理を切り捨てにより行っていることから、整備費総額と内訳とが一致しない場合がございます。

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	山陽電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	424 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	駅 番線	
エレベーター	駅 基	
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅 番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅 番線	
バリアフリースイール	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	駅	
備考		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	283 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	164	119	0
備考			

本年度までの累計整備費	549 百万円
本年度までの累計徴収額	283 百万円

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	1 駅	2 基	夢前川 (新規着手)	298 百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	1 駅	2 番線	夢前川 (新規着手)	44 百万円
バリアフリースイール	3 駅	3 ヶ所	板宿、広畑、平松 (いずれも新規着手)	0 百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他		1 駅	夢前川 (新規着手)	5 百万円
備考	その他の1駅は段差解消を目的とした改札口の新設			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	1 駅	1 基	山陽姫路 (新規着手)	16 百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
バリアフリースイール	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他		駅		百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費				56 百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				0 百万円
備考	維持管理費はエレベーター・エスカレーターにかかる費用 その他費用としてホームページ運賃改定対応費を含む			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2025年度	0番線	0%	1駅	100%	0駅	100%
累計	0番線	0%	1駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

## バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	0番線	0%	1駅	11%	0駅	0%
2028年度	0番線	0%	2駅	33%	0駅	0%
2029年度	0番線	0%	1駅	44%	0駅	0%
2030年度	0番線	0%	1駅	55%	0駅	0%
2031年度	0番線	0%	1駅	66%	0駅	0%
2032年度	0番線	0%	0駅	66%	0駅	0%
2033年度	0番線	0%	0駅	66%	0駅	0%
2034年度	0番線	0%	2駅	88%	0駅	0%
2035年度	0番線	0%	1駅	100%	0駅	0%
累計	— 番線	— %	9駅	100%	— 駅	— %

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

## 鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について（お知らせ）

当社では2023年4月1日より、運賃に加算して鉄道駅バリアフリー料金を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達（国鉄都第111号 令和3年12月28日付け）」に基づき、下記の通り2023年度末時点における整備等計画の進捗状況をお知らせいたします。お客様には引き続き料金のご負担をおかけいたしますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 1. 具体的な公表項目

- (1) 鉄軌道事業者名 : 神戸電鉄株式会社  
 (2) 2023年度の整備費 : 112百万円  
 (3) 2023年度 of 主な整備内容 :

・岡場駅（触知案内板）設置



・志染駅（触知案内板）設置



・神鉄道場駅（エレベーター1基）更新

施工前



施工後



・神鉄道場駅（エスカレーター1基）更新

施工中



施工後



・上記のほか、有馬口駅スロープ設計費用を2023年度に計上

(4) 2023年度の料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

・ホームドア設置番線数 : 0番線

・段差解消駅数 : 0駅

(5) 2023年度の徴収額 : 176百万円

(6) 整備等計画の進捗状況 : 当初の計画通りに進捗しています。

(7) ホームドアの整備にあたって一般競争入札を実施しなかった場合には、その理由等 : なし

以上

(神戸電鉄株式会社)

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	神戸電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	112 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	駅 番線	
エレベーター	駅 基	
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅 番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅 番線	
バリアフリースイッチ	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	2 駅 (※)	岡場駅・志染駅
備考	※その他 触知案内板（2駅）	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	176 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	111	65	0
備考			

本年度までの累計整備費	334	百万円
本年度までの累計徴収額	176	百万円

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	駅	基		百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	1 駅	2 ヶ所	有馬口駅 (新規着手)	8 百万円 (※1)
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	駅	番線		百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他	8 駅 (※2)		岡場駅・志染駅ほか (新規着手)	6 百万円
備考	※1：設計費用を計上 ※2：その他 触知案内板 (2駅)、案内ディスプレイ (6駅分の機器購入のみ)			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	1 駅	1 基	神鉄道場駅 (新規着手)	32 百万円
エスカレーター	1 駅	1 基	神鉄道場駅 (新規着手)	18 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他	駅			百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費(※)	33		百万円	
収受システム改修費	15		百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			百万円	
備考	※1 エレベーター、エスカレーターの維持管理			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	0番線	0%	1駅	100%	0駅	0%
累計	0番線	—	1駅	100%	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	0駅	0%	0番線	0%
2027年度	0番線	0%	1駅	33%	0番線	0%
2028年度	0番線	0%	1駅	66%	0番線	0%
2029年度	0番線	0%	0駅	66%	0番線	0%
2030年度	0番線	0%	1駅	100%	0番線	0%
累計	0番線	—	3駅	100%	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。